

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	02	04	188530	橋梁維持事業(繰越分)	
総合計画	重点戦略	防災力の強化				
	分野	暮らし				
	政策	2-2 生活基盤の充実				
	施策	1 道路環境の充実				
目的	橋梁の維持管理					
対象	道路利用者、市民、修繕が必要な橋梁					
意図	橋梁修繕により、市内を安全で快適に移動できる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
【平成27年度】 橋梁点検 (L<15m N=414橋)						
市民参画の有無 [ ]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 修繕橋梁数	橋	計画		2	2	
		実績		1	2	
②		計画				
		実績				
③		計画				
		実績				
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 修繕対象橋梁修繕率 (H21~H35: 全26橋)	%	目標		15.0	15.0	
		実績		12.0	19.0	
②		目標				
		実績				
③		目標				
		実績				
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
修繕対象橋梁 (H21~H35: 全26橋) のうち、26年度までに4橋が修繕完了。 5橋/26橋=約19%とした。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 ・公共施設である橋梁の補修なので妥当である。 <input type="radio"/> 妥当である 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 ・前年度に橋梁補修内容の調査設計を実施し、予算について精度を上げている。 向上余地がある ・以前より上記内容に取り組み、橋梁長寿命化において成果をあげていることから、更なる向上は困難である。 <input type="radio"/> 向上余地がない ・公共物の老朽化は年々進むことから、現在の取り組みを維持し、継続的に改善を進める必要がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 ・前年度に個々の橋梁補修内容について調査設計を実施。 事業費の削減余地がある ・それにより適正な補修方法、内容を検討。 人件費の削減余地がある ・あわせてコスト削減についても検討。 <input type="radio"/> どちらも削減余地がない ・積算、施工管理に係る事務経費の適正な遂行に必要な最低限の事務を行っている。
公平性	受益と負担の適正化余地 ・公共施設であり、不特定多数が利用する橋梁の補修であることから、受益者負担は公平、公正である。 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
<ul style="list-style-type: none"> <li>橋梁長寿命化修繕計画に基づき、早期対策の必要な橋梁を優先して修繕している。</li> <li>その中でも、個々の橋梁修繕については前年度に調査設計を実施し、内容の精度を上げて事業費削減に努めている。</li> <li>更なる修繕計画の効率性、経済性の向上を図るため次年度に計画見直しを実施する。</li> </ul>	

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	08	02	04	188530	橋梁維持事業(繰越分)

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			76,799		76,799
財 源 内 訳	国・県		46,079		46,079
	地方債				
	その他				
	一般財源		30,720		30,720

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--------------------------------	--	-----------------

部重点施策における目標  
安全、安心で快適な生活基盤の充実に努めます。

事業開始の背景・経緯  
橋梁の老朽化対策として修繕工事を行っている。ここ数年で耐用年数を超える橋梁が一気に増加するので、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、それに基づき事業を展開している。

事業概要

【平成27年度】  
橋梁点検 (L<15m N=414橋)

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・調査設計内容を発注者側で精査するにあたり、新工法、新技術の情報をインターネット、情報誌等を活用し収集するなどの取り組みを通した更なる精査により、最適工法の選定、コスト縮減を図る。
- 結果を反映させ、適切な維持補修を行う。
- ・橋梁定期点検の実施が必要 (5年/回) 対象：2m以上の道路橋すべて。
- ・橋梁長寿命化修繕計画の追加策定が必要 (橋長15m未満について)

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当係長 重茂 猛 内線 574

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- 【平成27年度】
- ・橋梁点検 (L<15m N=453橋) 76,799千円